Library News 京教図書館 ニュース
2014年12月号 No.171

『つながる脳』藤井直敬 著
・NTT出版, 2009年 ISBN:9784757160422
配置場所:開架 南館2階
請求記号:491.371||F57
・新潮社, 2014年 ISBN:9784101259819
配置場所:文庫 南館2階
請求記号:SH-1||F57||14
文庫版もあります

私のすすめるこの1冊

黒田 恭史（数学科 教授）

『つながる脳』
藤井直敬 著

要素還元主義的アプローチによって，ヒトの脳の物質的特徴は解明できたとしても，人間の脳の総合的・精神的特徴は解明することはできない，これが著者の最も主張したい内容である。冒頭から難解な用語が登場したが，要素還元主義とは，不可解にみえる生命現象も，要素に分類・還元し，これら各要素の特徴を解明することにより理解することができるとする立場である。本書では，脳を細かく要素に分割して計測し，その結果を積み重ねたとしても，人間の脳を本質的に理解したと捉えることには限界があると指摘するのである。

著者の立場は，社会脳（Social Brain）に近い。社会脳とは、人間という生物が、単体では生きていくことができず、集団を構成してこそ生存が可能であることから、他者との関わりの中で、脳の機能を考えていくという立場である。そこでは，人間を他者との関わり合いの中で常に変容する存在として位置づけ，その変化自体を研究対象とする。この根底には，環境自体が予測困難な「非定常性」を持っており，脳はそれに臨機応変に対応できる能力を獲得し，今日まで生存してきたという歴史的事実がある。

本書では，複数のサルの脳を対象に，サルの間で行われる人間模様ならぬ「サル模様」に焦点化し，実験を行っている。たとえば，二頭のサルを向い合せに座らせ，その真ん中に大好物のリンゴを置く。当然，二頭の間でリンゴの奪い合いになるが，ある時点から負けが込んでいるサルは，相手を威嚇するようになる。そしてついには，リンゴに興味を示さないという態度を取るようになるそうである。著者は，この間の二頭の脳活動を計測し，行動観察と照合してその意味を次のように分析する。最初，互いに自分が相手よりも上位であると判断しているが，ある時点から一方は下位に甘んじていると認識するようになる。そしてその立場を逆転しようと，反撃（威嚇）に出るが，それが効果をなさないと判断すると，下位に位置することを許容するようになるというのである。続く実験では，二頭のサルを90度の位置関係に座らせ，リンゴを両者の真ん中に置いたり，片方のサルにしか届かない位置に置いたりした場合には，どのような変化が生じるのかを計測・分析するのである。

こうした社会脳研究は，まさに教育研究に新たな視点をもたらす。教室空間で繰り広げられる幾多の授業は，他からの情報を遮断された実験室内での個別学習とは異なる。教師や児童生徒との関係の中で紡ぎ出される学びの空間そのものを脳活動計測対象とすることのできる時代は目前に迫ってきている。本書から，その確かな足取りを感じ取っていただきたいと思う。

報告

第23回 うたとおはなしの会

11月22日(土)に第23回「うたとおはなしの会」が開催された。11月の開催は、2011年以来３年ぶりであり、親子連れを中心に151名の参加者で会場はいっぱいになった。

今回はキャンパスの秋の雰囲気を子どもたちに味わってもらいたいと思い、画用紙で作った壁面装飾に加え、模造紙に書いたプログラムには学内で拾った赤や黄色の葉っぱを装飾するなど、会場の環境構成にも少し工夫を加えた。これに関連して図書館長からの話にも、学内で拾った大小大きさの異なるまつぼっくりや本物のかぶが登場するなど、子どもたちがわくわくした気持ちでうたやおはなしを楽しめるよう演出がほどこされ、開会前から会場全体がほのぼのとした雰囲気に包まれていた。

まず、幼稚園でよく歌われる「まつぼっくり」の歌で会が和やかに始まった。そして最初の演目のパネルシアター「あきのかばん」では、おいしい秋の食べ物が子どもたちの興味を引き付けた。自分の好きな食べものが、動物たちのかばんから出てくるたびに、嬉しそうに指さして「くり」、「おいも」などと元気に答える姿が見られた。

続いて、うたあそび「やまのおんがくか」では、子リスや小鳥に扮した学生が本物のヴァイオリンやピッコロの演奏を披露した。子どもたちの中には本物の楽器を初めて目にしたという子どもも多く、楽器やその音色に興味津々の様子だった。例えば、小鳥役の学生が「ピッコロ」を紹介する際、NHK教育テレビでお馴染みの「ピタゴラスイッチ」のテーマを奏でると、「あっ、これ知ってる!」と保護者と顔を見合わせて喜ぶ子どもの姿も見られた。今まではこの場面で子どもたちにも楽器を配り、参加者全員が加わって楽器遊びを楽しんでいたが、今回は趣向を変え、あえて楽器は使用せず、自らの身体の音をうた遊びに取り入れた。リーダーの学生が歌う「しあわせなら手をたたこう」に合わせ、手拍子、足拍子、肩たたきなどの動きが加わると子どもも大人もみんな笑顔になり、会場中に歌声と笑い声が響いた。

ボディパーカッションや手遊びで心と体がほぐれたところで、２冊の「絵本」の読み聞かせを行った。１冊目は、わらべうた「おちゃをのみにきてください」を題材にした「いろいろおせわになりました」(やぎゅうげんいちろう/作)で、２冊目は「どろにんげん」(長新太/作)である。女子学生が「いろいろおせわになりました」を優しい声で歌をまじえて聞かせた後、「どろにんげん」は男子学生が読み手として登場し、２つの異なる世界観をそれぞれの声質やトーンの違いで効果的に描き分けた。

そして、プログラムの最後に子どもたちが楽しみにしている人形劇が始まった。今回は有名なロシア民話で、昔から多くの人に親しまれている「大きなかぶ」を題材に選んだ。おじいさんが植えたかぶが大きく成長し、みんなで力を合わせて抜くという話であるが、見どころは何といってもおじいさん、おばあさん、まご、動物たちが一列に並んでかぶを引っ張るシーンである。何度も何度も繰り返される「よーいしょよいしょ、よーいしょ･･･」の掛け声に合わせて、参加者の子どもたちも身体を動かし声を出して応援し、最後にかぶが抜けるシーンでは「やったぁ」と立ち上がって喜ぶ子どもの姿も見られた。

エンディングは「となりのトトロ」を学生と参加者全員が歌って、秋のうたとおはなしの会は終了した。終了後のアンケートでは、「2 歳の子どもがノリノリで歌ったり手遊びしたりしていました。春にもまた来たいです。」「知っているお話でも、人形劇で見ると絵本とは違う面白さがあり、子どもがくぎ付けになっていました。」など、好意的な意見が多く寄せられた。また、今回が２回目の参加という保護者は「毎回とても楽しみです。子ども(現在１年生)が２年前に来たときのことをまだしっかり覚えています」と嬉しそうに語っていた。「うたとおはなしの会」で提供するうたやおはなしが子どもたちの記憶にしっかりと刻まれていることは、主催する我々にとって大きな喜びである。これからも子どもたちの心に届くうたやおはなしが提供できるよう、１回１回新たな気持ちで内容の充実を図っていきたい。

平井　恭子（幼児教育科　准教授）

人形：平野利江さん 作

図書館からのお知らせ

わくわくkyo2ライブラリー
読書キャンペーン
2014年10月27日(月)～
2015年2月28日(土)

対象：本学学生（学部生・院生・科目等履修生・研究生等）
実施期間中、返却時に読後コメントを提出すると、ポイントに応じてグッズがもらえます。
賞品の引き替えについて
　場所：事務室（カウンターでは引き替えません）
　期間：2014年10月27日～2015年3月25日
　時間：平日（月～金）　9:00～17:00
※賞品は先着順とし、なくなり次第終了となります。
詳しくは http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/event/other-events/2014/reading-campaign.html

京阪奈三教育大学連携事業プロジェクト
三教育大学間相互貸借を無料化します

対象者:本学学生(学部生・院生・科目等履修生・研究生等)
実施期間:2014年10月～2015年2月
学生が相互貸借を申し込んだうち、大阪教育大学または奈良教育大学から取り寄せた場合、送料は無償とします。
詳しくは
http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/information/2014/ILL-free.html

イベント・展示案内

企画展示室（北館1F）
・研究生による研究に伴う展示
『障害者自立訓練（生活訓練）事業　プエルタ作品展』
赤鋳千春
12月9日(火)～12月13日(土)9:00～17:00

・e-project”被災地の日常をとらえた写真作品制作”
『ただ、ひっそりと流れる』
12月10日(水)～12月20日(土)9:00～17:00

終了しました
第19回 教科書展　中等教育用教科書（美術科編）

　2014年10月27日(月)～11月14日(金)にかけて、教科書展を開催しました。約350名の方々にお越しいただきました。今回は中等教育用教科書（美術科編）と題し、美術教育の歴史の一端をお目に掛けることができました。過去から現代の教科書を手に、懐かしかったり新鮮だったり、楽しまれている様子でした。

　なお、今回の展示にあたり、本学美術科教員の皆様には多大なるご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

冬季休業に伴う長期貸出について

　院生・教職員は11月25日(火)～ 12月10日(水)、学部生は12月9日(火)～12月24日(水)の期間に借りた図書の返却期限日が、2015年1月8日(木)になります。※視聴覚資料を除く。

特集コーナー

その① 図書館ニュースで100回以上続く連載、「私のすすめるこの1冊」の紹介図書コーナーを設置予定。
12月前半は
《心って不思議だ》《食べものと農業と》
12月後半は
《子どもの本って素晴らしい！》《科学を覗いてみる》のテーマで、毎回10冊ほど展示します。

その② 1階渡り廊下のミニコーナー展示、
12月は「旅」をテーマにしたコーナーを設置します。
幅広いジャンルから旅に関する本を集めていますので、わくわくしたいときやほっこりしたいときなどにぜひどうぞ！

えほんのもり

今月の読み聞かせ会は、
12月22日（月）15:00～です。

今月の絵本カードはこちら！

★バーバパパはクリスマスツリーを探します。でも、木はたくさんの動物のおうちです。クリスマスツリーを飾ることができるのか･･･。

『バーバパパのクリスマス』

アネット=チゾン, タラス=テイラー 作；やましたはるお 訳

※絵本カードは幼児教育科の学生が作成しています。このほかにも毎月かわいいカードが飾られていますので、ぜひ児童書コーナーに見に来てください。

第3回「京都・大学ミュージアム連携」スタンプラリーもやってます！

教育資料館
まなびの森ミュージアム

秋季企画展
「掛図と標本でみる師範学校の生物教育」
2014年12月24日（水）迄 開催中！
【開館日時】月・水・金・日　13:30～17:00
【入館料】無料　　　　ぜひご覧ください

※詳しくは、まなびの森ミュージアムHPにて
http://manabinomori.kyokyo-u.ac.jp/manabinomori.html

論のくちび理のむすび

京都教育大学紀要（大学発行の学術雑誌）に掲載された論文を、執筆した先生本人にご紹介いただくコーナーです。

今回の執筆者　**丸山　啓史（発達障害学科　准教授）**

「障害児家族の生活・養育困難と特別支援学校教員の対応」

丸山啓史・窪田知子・河合隆平・越野和之・田中智子

京都教育大学紀要.　2014, No.124, pp. 29-44

学校納入金が期日に納められない、校外学習や修学旅行の費用が出せない、経済的理由で子どもの進路が制限される、授業で必要になる物品を用意することが難しい、子どもが朝ごはんを食べさせてもらえない、季節に合った服を準備できない、保護者にも知的障害がある、保護者が精神疾患を抱えている…。特別支援学校の先生方に協力いただいたインタビュー調査のなかでは、そのような障害児家族の実態が多く語られました。

この論文は特別支援学校の子どもと家族をめぐる問題に焦点を当てたものですが、子どもをもつ家族の生活困難は特別支援学校だけの問題ではありません。2014 年 7 月に発表された子どもの貧困率は 16.3%であり、およそ 6 人に 1 人の子どもが貧困のもとにあるとされています。そのような状況が社会問題になるなかで、2013 年 6 月には「子どもの貧困対策法」が成立しましたが、生活保護基準の引き下げや消費税の増税など、子どもと家族の困難をさらに深刻にするような動きがあります。子どもの貧困や、それとも結びつきがちな様々な生活困難について、私たちの向き合い方が問われています。

もちろん、家族の生活に関して、個々の教師・学校にできることには限界があります。現代日本の貧困や生活困難は、基本的には制度的・政策的な対応によって解決されていくべき問題です。ただ、子どもと家族の困難を目の前にして、何もしないでいることはできません。それぞれの教師・学校にも、何か工夫できること、既に取り組んでいることがあるのではないか。また、一人ひとりの教師が問題に目を向けることが、あるべき制度・政策を後押しするのではないか。そんなことを考えながら、この論文をまとめました。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 124 号に掲載されています。
※京都教育大学リポジトリ「クエリ（KUERe）の森」http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/　にも公開されています。

開館日程　□9:00−21:00　■9:00−17:00　■休館(CLOSED)
■学内者のみ

2014年12月

日	月	火	水	木	金	土
	2	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

12/6 推薦入試
12/23-1/4 冬季休業

2015年1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

1/5 授業再開
1/17-1/18 大学入試センター試験

●京都教育大学附属図書館ホームページ
http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/
●携帯版図書館ホームページ
http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/m/mhome.htm

QRｺｰﾄﾞ →

京教図書館 News No.171（2014 年 12 月号）
発行日：平成 26 年 12 月 1 日
編集発行：京都教育大学附属図書館
問い合わせ先：library@kyokyo-u.ac.jp

京都教育大学